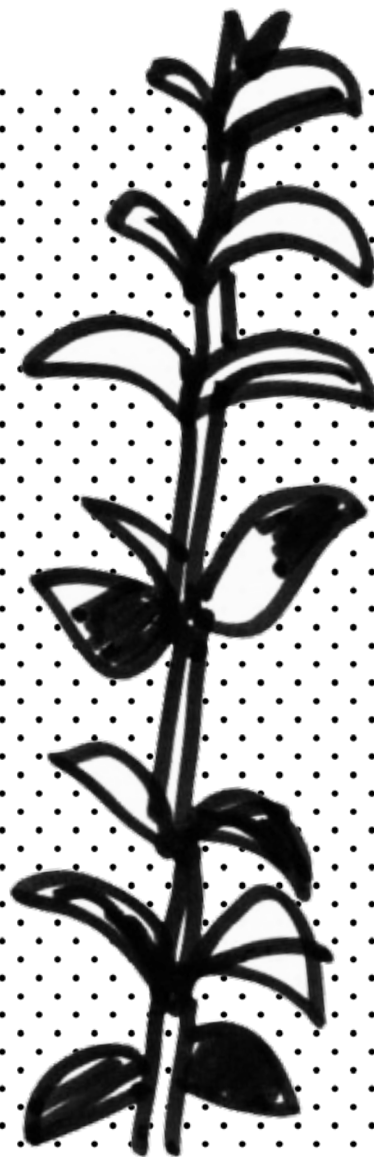


SINCE 2005

Vol.208
monthly issue

かほも通信

August 2022



特集 昭和44年8月18日

忘れられない 夏の思い出 〈前編〉



忘れられない夏の思い出

前編

小学生7名が意気投合し子供だけで日帰り登山を計画し、10月10日の体育の日に乙女溪谷の二の谷から夫婦滝を越えカモシカ渡から兜岩まで行き、三の谷を通って彼らは難なく無事に下山を果たした。後日、その無謀な登山が明るみとなり小学校の先生に彼らはきつく注意されてしまう。しかし子供達の山への憧れはさらに募るばかりで、ついに昭和44年8月18日『木曾越峠～小秀山縦走・日帰り登山』が実行されたのだった。そこで彼らを待ち受けていたのは…。

憧れの小秀山へ行くぞ

少年達の憧れ小秀山。中学生になった夏休み、いよいよ小秀山に登頂する日がやって来る。あの小学六年の決意を胸に妙な連帯感が少年達に芽生えていた。大袈裟な言い方をすれば同じ志を持つ者の集まり、何をすることも目的意識がはつきりしている。夏休みを前に小秀山登頂計画は着々と進んでいった。残念ながらせいちくんは家の都合で不参加、又新たに仲間に加わったひろゆき君は当日の朝リタイアとなってしまっ

たが、他の六人は以前と同じ顔ぶれだ。前回の教訓として引率者として学校の先生が同行する事で登山が可能となった。

教師は小学六年生の時の担任だった桂川先生と新任の永井先生、そして中学校の教師の三尾先生である。彼等は何度となく自転車走らせ桂川先生宅に集まり登山の計画を練る。その計画は、木曾越峠から裏木曾ルートで登り、尾根づたいに唐塩山、前山、小秀山を経て三の谷から下山するものであった。これを日帰りで行うのである。八月十八日といえはお盆も過ぎて

そろそろ秋風も吹き出す頃、高校野球も決勝戦を残すだけとなっていた。

可愛い少年。みんなを笑わす人気者。三尾昌平先生(残念ながら今は故人)二年A組の担任。登山に対する知識が豊かで格好も決まっていた。よったか、頭脳明晰、メンバーの知恵袋。なおき、野球部でキャッチャーをやっている、一番の大柄。彼の調達したココロラに助けられる。ようちん、常に冷静に物事を判断して行動する、リーダー的存在。しんきょう、二年B組の学級委員。人参が苦手。

一九六九年八月十八日月曜の早朝五時、山々にはモヤがかかる朝霧の中、桂川先生の家に集合した。メンバーは、だいちん、いづも、ダジャレを言ってる人、笑わす。用意周到(チョコレート等の非常食を余分に持っていた)で備えが万全。桂川勝典先生「僕らが小学六年生の時の担任だった。あきじん、無邪気で

日帰りの登山と言う事もあって、格好は軽装のものだった。体育の授業の時に履

く白いトレパン、上はカッターシャツ、靴はスック、持ち物はナップサックだけ。中身は昼飯のおにぎりや缶入りのココロラ、それとおやつ程度だった。

熊笹のトンネルを進む

登山ルートは「木曾越峠～唐塩山～前山～小秀山」の谷(乙女溪谷)というコースである。この登山計画は当初の予定では山中で泊する予定だった。先生の提案で「どうせならテントをかついで登り、一泊二日やるまいか!」と言う事で、みんな大はしゃぎで大賛成だった。しかし、先生達のスジュールが合わず止む無く日帰り強行となってしまうたのである。



まだ天候がよかったころ、唐塩山の手前だと思

進んできたため、真っ白だったトレパンはもう真っ黒に汚れてしまっていた。靴は汚れた水を含んでベタベタだった。

唇前には唐塩山に到着

唐塩山の頂上らしき所には「唐塩山一六〇八m」というコンクリートの杭がしっかりと地面に突き刺してあった。一行はここで昼食をとる事にした。中味が梅干しだけの海苔がへばりついたおにぎりをぼうぼうる。もちろん現在コンビニで売られているバリバリの乾燥した海苔ではない。でもこの食感がたまらないのだ。

いつも下から見上げていた唐塩山のでっぴんに彼らはいいた。頂上とは言っても木々が覆い茂る普通の山だ。少し見晴らしの良い所で周りを見渡せば御岳山を初めとした三千メートルを超す北アルプスの連峰が見えた。しかし、この頃から天候が怪しくなってきた。

ドライアイスの煙のような密度の濃い霧(ガス)が急にあたりを覆い始める。山の天候は急変するものだ。さっきまで見事な眺望を見せていた景色は瞬間に白いガスに覆われて何も確認できない状態になってしまった。

「よったか談、当時の記録より)すぐ近くに展望台のような所がある事を三尾先生が教えてくれたので、おれとあきじんと伸こう(しんきょう)とでいってみた。下を見るとどえらい高かった。又、何も見えず、ただガスだけが、ぶわーとも言うように後から後から押し上げてきた」

黒沢明監督の映画「蜘蛛巣城」の冒頭の場面のような深い霧(ガス)。決して大袈裟ではなく視界はわずか五十センチメートルだった。あたりは薄暗くなり、ヒンヤリとした何とも言えない冷気が体中を覆い尽くす。行く手が遮られたようで、さすがに心細くなっていた。

ガス(霧)に囲まれてしま

一行の前に立ち塞がる白い壁。何年前か前に来た事があると、地理感を頼りに先頭を行っていた桂川先生も「おかしいな?いま何処におるかかわからん」と疑心暗鬼になってしまった。焦る気持ちに背丈程もある熊笹が押し寄せ、振り払っても押し倒しても一向に先が見えない状態に陥ってしまった。さすがに大自然の脅威とも言つべき山のガスは半端ではない。いつでも用意周到のだいちんは持参してきた磁石を見て「先生、北はあっちの方向だよ」と指さすが、ようちんの持つて来た磁石とは全然違う方向を指してい

た。

「いったいどっちが正しいんや!」ますます不安は深まるばかりだ。三尾先生は木に登って現在地を確認しようとしたがこの濃いガスでは何も見る事ができず「だめや、とにかく何も見えない」と表情を曇らせた。さらにバック状態の二行にまた二つアックンデントが重なった。誤ってしんきょうが足の蜂の巣を蹴飛ばしてしまったのだ。怒って襲いかかってきた足長蜂に永井先生が刺されてしまった。まさに泣き面に蜂である。

ガスと熊笹の迷路に迷い込んでしまった一行の運命やいかに…

時を同じくして甲子園では

北四国代表・松山商(愛媛)と北奥羽代表・三沢(青森)による第五十二回全国高等学校野球選手権大会の決勝戦。決勝戦初の引き分けとなったこの日の試合は四時間十六分におよび、特に延長十五回裏の三沢の猛攻に対し、サヨナラ負けの再三のピンチを松山商が紙一重でしのぐという攻防が展開され全国の視聴者を釘づけにしていた。



●「忘れられない夏の思い出は次号に続く」

わが家のPet!

上区 梅本さんちのヤギさん達

先月号で紹介したヤギのお母さん2頭が、無事に2頭ずつ産み4頭の赤ちゃんが誕生しました。
“牛柄のヤギ”は、大人気!
生まれた翌日に抱っこさせてもらい、めっちゃめっちゃ可愛くて感動したわたしなのでした。



りえ



コウノトリ

	2021年度		2022年度	
	男	女	男	女
4月	0	0	0	1
5月	0	0	1	0
6月	0	0	1	0
7月	1	0	0	0
8月	0	0		
9月	0	1		
10月	0	0		
11月	0	0		
12月	0	1		
1月	0	0		
2月	1	0		
3月	0	1		
計	2	3	2	1

(令和4年7月19日現在)

かしも通信文芸

短歌 夕暮に草刈る夫の蚊遣り焚く匂い漂よう厨に立てば
短歌 電線を目安となして雲行きを見定めんとすかすむ目くらして
川柳 星一つ大関の座にしがみつく

岡崎真佐弘 田口くに江 瀧瀬いのみ



おしりかじり虫

「おしりかじり虫」という歌をご存知でしょうか。NHKのみんなの歌で流され15年程前に流行した歌です。それが、今年、学名「オシリカジリムシ」として新種の甲殻類に命名されました。発見したのは鹿児島大学のチームです。ハゼの尾ビレに食い付いていたそうです。体長1.3ミリで、オシリカジリムシ科「オシリカジリムシ」が新設されました。これは極めて稀な例らしい。私が学名で知っているのは、トキの「ニッポニアニッポン」くらいなのだ。何故私が、ニッポニアニッポンを1つだけ知っているかというと、新潟や石川県から佐渡ヶ島へ渡るトキの群れが空を覆い、トキ色が空を埋め尽くし、どこかの外国人がそれを見て、あまりの美しさに気を失ったという記事を見たときです。赤でもない、朱色でもない、ピンクでもない、トキ色が空を覆うと、そりゃあ、見た事のない外国人は、感動でしょう。皆さん、「オシリカジリムシ」を宜しく。

中切 治

佐野智哉のキヅキノート

先日、荷物の整理をしていて、僕が小さい頃に作った工作「ビール瓶と新聞紙粘土でつくった恐竜」が出てきました。

息子にちょっと見せただけなのに、ある日「よいしょ、よいしょ、」「ドラゴン、ドラゴン!」と言いながら、ペットボトルに一生懸命ねんどをくっつけていました。工作の置物が恐竜であることに加えて、形状や素材感、つくり方など、いろいろな情報を吸収・連想して行動に移していると思うと、子供の創意工夫に驚かされます。改めてものづくりに対する姿勢を息子に教えてもらっているような気分です。



デブちゃんの時 男子にからかわれたのが懐かしい小学5年生の頃、私は女子の中で一番体重と胸囲が多かった。それが恥ずかしくて、これから計らんなんという5分前頃トイレに走り、シッコでもすれば少なくともそれを楽しみに廊下を走ったものだった。2.3名の男子が集まると他勢の勢いにかせ「デブデブ百貫デブ空気デブ 豚にけられてベッジャンコ」そこ迄は覚えているが、後の文句が浮かんでこない。今老人になって、続きのからかい文句を付け足したしたら「空気を入れたら元どおり、その時さバットで叩くからボールの代わりになりたまえ、ワッハッハこりゃオモシロイ」...「先生、男子がからかうのを止めるよう言ってください!」「子供のうちの遊びの一つ。充分言わせて思い出作りんさい。」先生の言われたとおり、あの頃の悪ヤンチャが楽しく浮かぶ。

かしも紀行 里山スケッチ

山守資料館

梅雨が明けたにもかかわらず、湿った天気が続く、そんな日、女性9人で、上桑原の内木家「山守資料館」を訪ねた。20代目になる内木哲朗さんが、私達を笑顔で迎えてくださった。

哲朗さんの穏やかな口調と、築260年程経った館を通り抜けて行く風が、とても気持ち良い。

1時間半程の説明だったが、哲朗さんは一度も膝を崩すことがなかった。流石だ。

私は、足の痺れや痛さにモゾモゾと悪戦苦闘しながら聞いた中で、心に残った話を2点書こうと思う。もちろん、加子母村の山林が尾張藩の直轄林となり、内木彦七(10代目)さんが、山守として活躍していた時代の話です。1つ目は、山から木を切り出すと、途中で角材にする。ヒノキなのか、サワラなのか、何処の山で伐り倒されたかという詳細を四角材の一面に書き付けて川に流す。川の中でクルクル回っても、書いた面が必ず水の中で上にくるやうな側を書く。凄い、昔の人の知恵だ。2つ目は、でも、村人は、ヒノキが大嫌いだっただろう。家の廻りに実生でヒノキが芽を出すと、小さい内に熱湯をかけて枯らしたそうだ。少しでも大きくなって目立つようになってから、切ったり、引っこ抜いたりしたら罰せられる。家の際に芽を出し、大きくなったヒノキの根が元で、家が傾いたとしても、手出しは出来ない。尾張藩にとって大切な資源が、村人にとっては、厄介と思われる事もあったに違いない。「ヒノキ一本首一つ」飛騨と尾張を繋ぐ南北街道沿いにある内木家の前に、大きい樫(かや)の木がある。見上げると、わずかに実が付いている。哲朗さんの言葉が心に残った。

「樫の木が弱ってきて、今までどんなに実が落ちてても芽出しはなかったのに、何年前に落ちた実から芽が出て、今年は実を付けている。木も、もう駄目だと思つと、次の代の子孫を作る。」

人々も、木々も次の世代を作って、歴史を絶やさず繋げていくのだろう。



編集後記

編集長 / 秦

特集の「忘れられない夏の思い出」に出てくる当時の小学生たちが小秀山に憧れを抱いている感じが新鮮で面白い。今は中学校で行く小秀山登山さえなくなったんじゃないかな？小学生がこれを読んで僕も登ってみたいなんて思う子はいるのかな。まあ当時も勝手に行って怒られているくらいだから普通の子供は行かなかったんだろうけど。興味や面白さは時代が変わってくるんだなと思った。では僕にとって加子母の面白いところってなんだろうと考えてみると、第一に明治座だ。東京なら高いチケットを買って歌舞伎座に行かないと観れない歌舞伎が、ここでは地歌舞伎として普通に生活の中にあって日本の伝統に触れられる。他にも、こんな山奥で日本トップクラスの演奏が毎年聴けたり、各地の大学生がやってきて、色々考えて活動しているのも面白い。しかしそんなものに興味を持たない人もたくさんいる。それもまた面白い。

かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介！
食には文化があらわれる。



Nさんのぬか漬

あこがれのぬか漬を作っているNさんと知り合いました。古いぬか漬ほど美味しくて、6年続けて来たのは美味しかったと話して下さいました。一杯話を聞いて、人参・きゅうり・なすを試食させていただいた。乳酸発酵して絶品。私が探していたぬか漬に会えた。体にもいい。「毎日必ず混ぜ事。可愛がる事」とNさんに励まされぬか漬に挑戦した。毎日混ぜるのが楽しい。手もぬかの油で綺麗になる。挑戦したい人には、床を少し譲ります。



作りやすい分量

米ぬか 1kg
あら塩 100g～130g
水 1L

作り方

- ①新鮮な米ぬかに塩を入れて、水を少しづつ入れてよい固さに練る。
- ②唐辛子、煮干し、昆布を入れて床を作る。
- ③一週間位は捨て野菜で漬けて発酵させて美味しい床を作る。
- ④毎日混ぜて野菜等漬けて頂く。

Nさんの話

- ・茹で卵の殻や魚の骨を細かくして床に入れると美味しくなる。
- ・涼しい場所において毎日混ぜる
- ・ぬか床を何人かに分けてあげた。発酵が早いし、いい床が出来る。
- ・人参がおすすめ

絵手紙：加子母公民館絵手紙教室協力
加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井やよい ☎ 0573-79-2627



小郷 けいちゃんの こざと

お持ち帰りも好評です！

Tel: 79-3618
(サブロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財) 岐阜県消防設備協会会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の
訪問販売にご注意を！

Tel. 79-2285



かしも通信
2022年7月25日発行 No.208

Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Susaki Yusa
Fukui Rie
Taguchi Sachiko
Correspondent Zenda Nao
Illustrator Honma Kiyoko



かしもっ子だよ全員集合！



小 仲間とっしょに海の体験 ～5年生宿泊研修～



保 ～5歳児ぞう組、ひみつきちの横で～

小 学校 ▶ 加子母小学校の5年生は、7月11日(月)～12日(火)に宿泊研修に出掛けました。一人一人が感染予防に努め、家庭でも協力をいただいたおかげで、全員が参加することができました。1日目は、カヤックやいかだ作りの体験をしました。カヤックもいかだの体験も、仲間と力を合わせて取り組まないとうまくいきません。苦労しながらも、うまく進めることができたときの喜びは格別です。潮風を受けながら、楽しい時間を過ごすことができました。2日目は、干潟観察を行いました。あいにくの雨天でしたが、雨の合間に観察に出掛けることができました。昼食は、バエリアを作って食べました。みんなで作ったバエリアは最高に美味しかったです。「みんなで協力して、楽しく、安全に学習し、もっとみんなのことを知ろう」をスローガンに取り組んだ2日間でした。仲間と楽しく活動する中で、仲間のよさやありがたさを感じたことでしょう。これからの学校生活がより充実したものになるよう、今回の学びを生かしてほしいと思います。

保 育園 ▶ 7月1日(金)に、年長お楽しみ会がありました。この日に向けて5歳ぞう組さんは、何をしようかと沢山話し合いをしてきました。自分のことが自分で出来るぞう組さんだから、お楽しみ会に向けて頑張れたんだと思います。お家からもらったダンボールや箱、筒等を使って設計から考えて自分たちでひみつきち作りを行い、夕食のオムライスのピラフはくどを使ってお釜で炊き、みんなと一緒にだからお家の人と離れて夜までいても大丈夫!と意気込んで取り組みました。お家の方に作ってもらったお守りを首に下げ、異年齢児からの勇気のバッチをつけ、絵本の中の「まゆ」にも会えてワクワクドキドキの夏の夜でした。ひとつ大きくなったぞう組さんです。

乳 幼児 ▶ 加子母・付知子育て支援センターくるりんぱ感染症拡大防止対応の『くるりんぱ開放日』を設けています。



8月の行事予定

【お願い】現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベント等が中止や延期、規模を縮小しての開催になっています。下記予定も変更等される場合がありますので、ご承知おきください。

1	月	【保育園】身体測定 【小・中学校】夏季休業日(～25日)
2	火	
3	水	
4	木	【保育園】誕生日会
5	金	1歳6か月児健診(午後)福岡会場 【保育園】避難訓練
6	土	
7	日	
8	月	【中学校】防災備品使用訓練(防災倉庫点検)PM
9	火	行政相談(13:30～15:30)
10	水	
11	木	山の日
12	金	【小・中学校】学校閉庁日
13	土	
14	日	大型・有害ごみ(9～13)
15	月	【小・中学校】学校閉庁日
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	軽トラ朝市(9～12) 不燃・硬質・資源ごみ(17～18)
22	月	【中学校】職員会(3期)
23	火	人権相談(13:30～15:30) 3か月児健診(午後)福岡会場
24	水	
25	木	区長会(14～)
26	金	【小学校】夏休み明け集会 【中学校】夏休み明け集会 【中学校】勉強がんばり週間②
27	土	【保育園】保護者会環境整備
28	日	
29	月	【小学校】家庭学習がんばり週間(～9/2) 【中学校】My Plan(夏休み作品)展示会開催
30	火	
31	水	【小学校】4年生カワゲラウォッチング

こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

新型コロナワクチン接種のお知らせ⑰

- 4回目接種が始まっています
接種対象者は、3回目接種日から5カ月経過した
①60歳以上の方
②18歳～59歳で基礎疾患があるか、重症化リスクが高いと医師が認める方
- 基礎疾患などをお持ちの方へ
接種を希望される方は事前にWEB調査に回答するか、市コールセンターにお電話ください。
☎広報なかつがわ8月号22ページ参照 中津川市HP
- 中津川市コロナワクチンコールセンター
☎0573-65-5100 (受付時間：平日9時～17時)



令和5年4月から勤務して頂けるスクールバスの運転手さんを募集しています。詳しくは加子母総合事務所へお尋ね下さい。 TEL 0573-79-2111



国民健康保険から職場の健康保険に切り替える時は手続きが必要です

国民健康保険に加入している方が職場の健康保険に加入する場合(ご家族の職場の健康保険に扶養として加入する場合も)は、国民健康保険をやめるために、市役所などで手続きを行い、国民健康保険証を返還する必要があります。この手続きを行わないと、二重で健康保険に加入することになり、保険料も二重に支払うことになってしまいますのでご注意ください。(二重で支払った分は手続き後、精算されます。)

手続きに必要な物 ●職場の健康保険の保険証(未交付の場合は加入したことを証明するもの)
●国民健康保険証
●マイナンバーカードまたはマイナンバーのわかる書類と本人確認書類

図書室だより【8月おすすめ図書】

■テスカトリボカ (著 佐藤究)

メキシコのカルテルに君臨した麻薬密売人のバルミロ・カサソラは、対立組織との抗争の果てにメキシコから逃走し、潜伏先のジャカルタで日本人の臓器ブローカーと出会った。2人は新たな臓器ビジネスを実現させるため日本へと向かい…。

■人に寄り添う防災(著 片田敏孝)

私たちは、荒ぶる自然とどのような心構えで共存していけばいいのか。被災地でのフィールドワークや、内閣府「中央防災会議」での議論を紹介しながら、高齢者・要支援者の避難誘導、防災コミュニティの構築など、具体的な「命を守るための指針」を提言する。

■圧力鍋の生涯作り続けたいレシピ100 忙しい人ほど楽になる!(著 石原洋子)

料理研究家・石原洋子の生涯作り続けたいレシピ集。「時間がないときに嬉しい「加圧5分以内 スピードおかず」「まとめて作っておくだけで「平日楽する 作りおき」「繰り返し作ってきた「わが家の定番絶品おかず」」などを紹介する。

■たんたのたんてい(さく 中川李枝子 え 山脇百合子)

朝早く、たんたが郵便受けにいくと、新聞のかわりにでこぼこチューブが。字がきえかけで「に・じ・は・がき」としか読めません。だれのしわざ? さっそく虫めがねをもって、ウサギ、ネコ、キツネの家へ。たんたはなぜをとけるでしょうか。50周年改訂版。

■チャレンジミッケ!ミッケがだいすき おとなも子どももいっしょにあそべるかくれんぼ絵本 2 (作 ウォルター・ウィック 訳 糸井重里)

おもちゃばこ、せいぞろいしたミニカー、ウキウキするおかしの世界…。「チャレンジミッケ」9冊をふりかえり、100枚以上の写真から著者のおきにいきりをまとめた「ミッケがだいすき」第2弾。



加子母の人口と世帯数(令和4年7月1日現在) 世帯数:960世帯 男:1,243人 女:1,302人 計:2,545人